

## イエメン

イエメン共和国

人口：約2,983万人 ※1

首都：サヌア

一人当たりGNI：940ドル※1

何らかの支援を必要としている方々

：2160万人以上 ※2

深刻な食糧難に置かれている方々

：1,700万人（人口のおよそ半分）※3



※1 外務省 HP ※2 OCHA Situation report, 2023 July ※3 WFP Situation report 2023 May より



## 「生きる力を呼び起こす」ためのプロジェクト～以前の生活を奪還する～

### 6度の緊急支援と

### これからの生計回復サポート



中東の共和制国家であるイエメンでは、2015年3月末からスンナ派対シーア派の内戦が続いており、8年以上も戦火が収まりません。まだまだ終結の目処は立たず、国民の75%にあたる2160万人が何らかの人道支援を必要としています。人口のおよそ半分である1730万人は深刻な食糧難に置かれ、80%が貧困ラインで生活しています。

このような事態を鑑み、ADRA Japanはこれまでに6度、食糧、栄養、水・衛生分野の緊急支援を実施しました。食料(小麦、米、豆、缶詰など)、水、衛生用品(歯ブラシ、シャンプー、石鹸、生理用品など)を、延べ35万人以上の紛争被災者の方に届けました。

紛争地帯から逃れるために自宅を離れる人も後を絶たず、これまでに約430万人が国内避難民となっています。その数は国民の7人に1人に数えられます。自宅で生活できる市民も、長らく紛争のために心身ともに疲れ切っています。

そのような環境にありながら、自分たちの生活を取り戻そうと前を向いている多くの方々と、ADRA Japanは出会いました。現在、我々は7度目の支援として、イエメン国民の生計回復サポートに着手しています。紛争によって暮らしを奪われた人々が、かつての仕事を再構築する、つまり「生きる力を呼び起こす」ためのプロジェクトです。

外務省の規定により、10年以上も日本人はイエメンに入国できません。そこで、インターネットを利用してイエメンの現地スタッフと連絡を取り、かつ、周辺国であるレバノンなどで直接会って話し合いを重ね、最新の状況を把握しております。

同プロジェクトは、紛争で破壊された灌漑設備の修復や、住民の農業生産力を回復することを目的としています。もともとイエメンは中東有数の農業国で、キビ、ソルガム、トウモロコシ、ゴマ、落花生、トマト、ニンジン、オクラなどが作れる地です。しかし、8年におよぶ紛争によって、それらの大半を失いました。今、我々は、イエメンの方々が以前の生活を奪還することを祈って活動しています。生活の再建が見込まれる地域の農家の方には種や肥料を、家畜を失った方にはヤギなどの動物を、大工だった方には工具を、雑貨屋を営んでいた方には資金や商品を提供しました。また、「自分たちの農業を再開したい」という強い意志をもつ住民に寄り添い、現在は灌漑用水の復旧を目指し、深井戸からディーゼルポンプで水をくみ上げて、節約しながら灌水する特殊ホースを取り付ける活動を実施しています。